

【活動方針・重点課題】

平成 30 年の診療報酬・介護報酬の同時改定まで、残り 1 年となりました。社会保障費の財源のない中で我々の置かれている状況は、かなり厳しいものとなっていますが、地域社会に欠くことのできない職種として、どこでどれだけ道民に貢献できるかを基本において、職域の維持・拡大の目標を継続していきたいと考えております。また、本会は来年の平成 30 年に、創立 50 周年を迎えます。この 1 年は、その準備のためにしっかりと足場を固める年にしていきたいと思います。

1. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化

地域包括ケアシステムの確立に向け、各市町村との対応については振興局を単位とした体制づくりを進めます。各市町村における地域ケア会議への参画を一層推進させ、予防事業において理学療法士の専門性を明確にした上で他職種と連携した事業展開を進めていきます。また、地域包括ケアの担当部署を設置し、具体的な対応ができる体制を整えます。その軸となっていた医療介護総合確保基金（3 年間）の運用が最終年度を迎えますが、当該研修会についても引き続き北海道リハビリテーション専門職協会を窓口として実施していきます。

2. 士会組織強化のための管理者間連携の充実

士会組織の安定・強化のために施設連携の整備を図ります。管理者マネジメント能力の向上を目的に管理者研修会を開催し、管理者間（各施設間）の連携体制を整備し、組織としての一体化を進めます。

士会組織の規模拡大に対応できる事務局体制の整備を図ります。

また、組織の業務効率化のためにも規程の整備、業務分掌の見直しを含め、将来構想の構築に向けたマスタープランの具体的運用を図っていきます。

3. 学術・教育活動の推進

理学療法士の質の維持・向上を図るために新人教育プログラムの履修及び修了を促進させます。同時に生涯学習のモデルを明確化するためにキャリアラダーの提示を進めていきます。

その上で、認定・専門理学療法士の取得推進に繋がります。また、支部学会・研修大会の開催についても、各支部の特徴を生かし随時広めていきます。

4. 道民の健康増進と障害予防の推進

道民のための予防理学療法の普及促進については、市民スポーツ大会等の支援を継続します。また、オリンピック・パラリンピックへの士会として参画・支援体制方法については、昨年度に対応した冬季アジア大会の実績を精査し、生涯スポーツ支援特別委員会において、引き続き検討を進めます。

介護予防事業をはじめ迅速な士会事業の対応を進めるために NPO 法人 HPT との連携を継続していきます。

5. 北海道理学療法士連盟との連携強化

昨年、理学療法士の国会議員がもう一人誕生し、国政への窓口が大きくなりました。理学療法士の職域の維持・拡大を図ることで、国民の幸福に繋がるよう引き続き職能活動の充実を図らなければなりません。

今まで以上に連盟組織と連携して道政への理解推進活動を展開すると共に道内国会議員との連携も図っていきます。また、要望書等の提出や連盟への業務委託・共催事業についても進めていきます。

《平成 29 年度重点事業計画》

1. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化
2. 士会組織強化のための管理者間連携の充実
3. 学術・教育活動の推進
4. 道民の健康増進と障害予防の推進
5. 北海道理学療法士連盟との連携強化

平成 29 年度事務局事業計画

事務局

局長

柿澤 雅史

【活動方針・重点課題】

これまで事務局は、各研修会・講習会の受講受付・入金確認、文書管理、会計に関わる証憑類の処理等、局並びに支部の事務処理の軽減を目的に各種業務を集約し、実施してきました。特に会計処理に関しては、その事務負担も大きく、更なる業務の集約化・効率化を検討してまいります。平成 29 年度以降は、新入会員がこれまで以上に増加することが予測され、会員管理はより煩雑になります。これに加え、昨年度に続き、北海道リハビリテーション専門職協会や北海道医療技術者団体連絡協議会の事務局としての役割も担うため、業務は多岐に亘り、事務職員増員も含め、さらなる機能強化、業務の一部外注についても検討します。合わせて、組織の業務効率化のためにも規程・業務分掌の見直しを図っていきます。

【各部事業】

〈総務・財務部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・行政等が設置する各種諮問委員会等への委員の派遣
- ・講師の派遣

《その他事業》

- ・監督官庁・関連団体との渉外活動
- ・代議員総会の企画運営
- ・文書管理（発行文書、受領文書、会議録、議事録、報告書など）
- ・会員管理（異動、慶弔、主催共催事業参加状況など）
- ・他部局支援（受講受付、発送業務、集計業務、ニュース割り付けなど）
- ・財務管理（財務執行、予算、事業支出・収入、会費、租税公課、補助金など）
- ・新年交礼会の企画運営
- ・ホームページ管理

【事務局派遣協力事業】

- ・北海道総合在宅ケア事業団への協力および事業参加

【関係団体協力事業】

- ・北海道医療・福祉関係職能団体等懇談会への参加協力
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会への参加協力
- ・北海道身体障害者更生援護推進会議への専門委員の参加協力
- ・北海道肢体不自由児者福祉連合協会への参加協力
- ・札幌市地域リハビリテーション推進協議会への参加協力

平成 29 年度学術局事業計画

学術局

局長

杉原 俊一

【活動方針・重点課題】

生涯学習としての専門領域部・学会研修部・学術誌部の役割を踏まえ、キャリアステージを考慮した研修企画、プロフェッションとしての情報発信を目指します。重点課題としては①平成 30 年以降の新たな全道研修会の円滑な移行、②50 周年記念学会の準備とします。各部事業としては専門領域部で、1) ニーズに基づく技術講習会の日程・内容の再考、2) 各専門領域の組織化推進を進めます。学会研修部では、1) 全道学会の開催時期変更に伴うタイムスケジュールの検討、全道研修会のあり方変更に伴う開催内容及び運用方法の確立、査読システムによる質の高い発表内容の充実に努めてまいります。また、学術誌部においては、1) 北海道理学療法第 34 巻の発刊、2) 学術研究助成を検討して参ります。

【各部事業】

〈学会研修部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

《公 2：学術振興事業》

- ・第 26 回全道学術研修大会（空知支部：砂川市）の開催支援
- ・第 68 回北海道理学療法士学術大会（日胆支部：苫小牧市）の開催支援
- ・第 69 回北海道理学療法士学術大会（札幌支部：札幌市）の 50 周年記念学会開催計画支援
- ・学会間の円滑な引継ぎ支援
- ・平成 30 年以降の学会・研修会の円滑な移行

〈学術誌部〉

《公 2：学術振興事業》

- ・北海道理学療法査読フローの作成
- ・北海道理学療法 34 巻の発刊
- ・学術研究助成の検討

〈専門領域部〉

《公 2：学術振興事業》

- ・完全事前申込制の円滑な運用
- ・各専門領域の技術講習会開催（第 194 回～199 回）
- ・理学療法士講習会（応用編）の開催
 - 肩関節の理学療法評価と治療～ 開催日：平成 29 年 6 月 24 日～25 日
 - 脳性まひ児の治療と評価～ 開催日：平成 29 年 7 月 8 日～9 日
 - 四肢の触診機能解剖～ 開催日：平成 29 年 7 月 15 日～17 日
 - ニューロサイエンスに基づく、運動学習、姿勢制御～ 開催日：平成 29 年 11 又は 12 月
- ・新たな技術講習会の企画

平成 29 年度教育局事業計画

教育局

局長

加藤 新司

【活動方針・重点課題】

教育局は、会員の卒後教育の一環を担い、協会の新人教育に合わせ基礎力向上のための研修会、講習会の実施や、健康増進・障害予防等の公益事業に資する人材の育成を図ることにより、道民の保健・医療・福祉に貢献することを目的に教育部と職域教育部の二つの部で活動します。

教育部は新人教育プログラムの履修促進と若手会員の臨床能力向上を重点課題として取り組みます。新人教育プログラムは、士会主導のみならず、全道域で取得しやすい環境を目指し、協会の e ラーニングとも合わせ各支部の選択研修会と連動して実施していきます。若手会員に対する臨床能力向上のための事業としては、臨床実践研修会と理学療法士講習会（基本編）で構成していきます。臨床実践研修会は運動器、神経、内部障害の 3 領域で実施し、いずれも臨床の基礎的な評価や治療介入方法をマスターするための研修会として位置づけます。理学療法士講習会（基本編）は、昨年度の 4 本から 5 本の申請とし重点事業としていきます。また臨床の基礎でもある若手会員向けの症例検討会も各支部で例年同様の開催を予定しています。

職域教育部においては、介護予防関係や道内スポーツ関連への障害予防に向け、人材育成をはかるためスポーツ支援育成講習会と健康支援育成講習会を 2 本ずつ実施していく予定です。健康支援育成講習会は必要に応じ職能局との連携をとり、柔軟に事業展開できるように対応していくことを考えています。

【各部事業】

〈教育部〉

《公 2：学術振興事業》

- ・ 教育部会議
- ・ 支部症例検討会
- ・ 臨床実践研修会（運動器、神経、内部障害）
- ・ 理学療法士講習会（基本編 5 本）
徒手的理学療法の基本
観察による歩行分析
画像の診方と臨床応用（神経編）
関節可動域治療の基本～下肢に対する関節可動域治療手技
関節可動域治療の基本～上肢に対する関節可動域治療手技

《その他事業》

- ・ 新人教育プログラム（必須初期研修会（A1～5）・選択研修会（B～E の 6 テーマ）
- ・ 新人教育プログラム支部開催（7 支部にて開催）
- ・ 新人教育プログラムテーマ承認作業（総務部と協働）

〈職域教育部〉

《公 2：学術振興事業》

- ・ 第 20 回スポーツ支援育成講習会
- ・ 第 21 回スポーツ支援育成講習会
- ・ 第 9 回健康支援育成講習会
- ・ 第 10 回健康支援育成講習会
- ・ 職域教育部会議

平成 29 年度社会局事業計画

社会局

局長

盛 雅彦

【活動方針・重点課題】

社会局は、理学療法士と社会（地域）の双方向の窓口として、理学療法士が専門知識・技術を持って社会に貢献するとともに、理学療法（士）の啓発を行うことに主眼を置いて活動しております。

昨年度の大きな取組としては、生涯スポーツ支援特別委員会のサポートをとおして札幌冬季アジア競技大会の支援スタッフ育成を支援しました。また、子どもに対する啓発事業として初めてキッズワークショップへ参画し体験型の職業紹介を試みました。その他、理学療法士を紹介する漫画版のリーフレット作成にも取組むなど、理学療法士の啓発活動に一定の成果を上げることが出来ました。

平成 29 年度も引き続き、スポーツ支援部、介護予防・健康増進支援部、企画推進部、広報部の 4 部が協働して、主体的に事業を企画・遂行するとともに、外部からの要請に対しても会員を派遣し、各事業へ専門性を生かした支援をするなど、理学療法（士）の社会的地位向上のために積極的にアピールしていきます。

各部の具体的な活動としては、スポーツ支援部では、札幌冬季アジア競技大会で作成したスポーツメディカルサポートに関するデータベースをブラッシュアップしつつ、道民が参加するスポーツ大会や競技団体をサポートできる体制作りのために情報収集を継続していきます。介護予防・健康増進支援部では、他の団体等からの派遣要請に対しても引き続き会員の皆様のご協力を得ながら対応するとともに、派遣要請団体も多様化してきていることから、会員派遣に対するルールの方案を作成したいと考えております。企画推進部では、啓発事業の一環として、イメージキャラクターやマスコット制作を検討したいと考えております。広報部においても新たなリーフレットの作成を継続し、各支部で活用できるよう整備していきたいと思っております。

平成 29 年度も、道民のスポーツや介護予防、健康づくりなどの支援を通じた啓発、理学療法週間事業等に活用できるパッケージやリーフレットを充実させることにより、各支部での啓発事業を支援していきます。

【各部事業】

〈スポーツ支援部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・北海道マラソン救護班派遣
- ・高野連メディカルサポート支援
- ・スポーツ関連事業へのスタッフ派遣・調整
- ・スポーツ派遣支援のための情報ネットワーク構築（生涯スポーツ支援事業特別委員会のサポート）

〈介護予防・健康増進支援部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・介護予防・健康増進関連事業へのスタッフ派遣・調整
- ・いきいき健康・福祉フェア 2017 への企画参入と出展
- ・札幌刑務所社会復帰支援プログラムへの講師派遣

〈企画推進部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・理学療法週間事業（支部との連携・支援・広報物品の調整）
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展への出展（幹事団体）
- ・道民向け啓発セミナー
（セミナー実施、パッケージの広報、イメージキャラクター及びマスコットの制作）
- ・社会分野小委員会の開催に関すること（社会分野奨励賞）

〈広報部〉

〈公1：医療保健福祉事業〉

- ・啓発用リーフレットの作成
- ・HP への啓発原稿の作成
- ・札幌市立高校職場体験学習受け入れ施設調整

〈公2：学術振興事業〉

- ・士会ニュース「Northerner」の編集・発行、取材

平成 29 年度職能局事業計画

職能局

局長

濱本 龍哉

【活動方針・重点課題】

職能局は支部職能部と協同し、地域包括ケアにおける活動をはじめとした、北海道における理学療法士の公益活動の拡大とともに職域の拡大に向けての活動を実施していきます。さらに、職能としての理学療法の充実に向け、会員への情報発信、休職者向けの対応等を実施していきます。また、職能団体としての機能をより充実させる目的で、管理者ネットワークの形成に向けた活動を実施します。

保険事業部では、診療報酬及び介護報酬関連の情報収集と整理、情報配信、会員からの疑義解釈について回答を継続して実施していきます。

職域事業部では、職能領域拡大に向けた社会・医療関連情報、職場環境等の情報の収集と会員への提供を通じて、会員の職能関連施策に関する視野の拡大を図る活動を継続します。また、職場・職域偏倚への対応検討に向け活動を継続します。休職者の職場復帰に向けての支援についても継続していきます。地域包括ケアシステムに関しては、会員へ啓発を目的に研修会の実施を行います。

【職能局事業】

《公 2：学術振興事業》

- ・支部職能部合同会議
- ・職能局会議

【各部事業】

〈保険事業部〉

《その他事業》

- ・診療報酬・介護報酬関連の情報収集・整理・情報配信
- ・診療報酬及び介護報酬関連の会員からの質問への回答
- ・実態調査

〈職域事業部〉

《公 2：学術振興事業》

- ・管理者研修会（10 支部）
- ・管理者研修会（急性期、生活期）

《その他事業》

- ・職能に関する情報提供事業
- ・会員動向把握事業
- ・北海道の理学療法士数の職域偏倚是正に向けた事業
- ・介護保険領域への就職に興味を持ってもらうためのワークショップ
- ・職域事業部内データベース管理事業
- ・局をまたいだ協働チーム
- ・休職している会員対象ワークショップ
- ・通所関連従事者支援事業
- ・復職支援に向けた検討事業
- ・管理者ネットワーク構築事業
- ・職域事業部全体会議

〈地域包括ケア推進部〉

〈公2：学術振興事業〉

- ・地域包括ケアシステムを学ぼう
- ・地域包括ケアシステムを学ぼう（支部開催）
- ・地域包括ケア研修会（中堅以上対象）
- ・地域包括ケア推進リーダー導入研修会（札幌）
- ・介護予防推進リーダー導入研修会（札幌）

〈その他事業〉

- ・地域包括ケア関連事業担当者会議

平成 29 年度支部事業局事業計画

支部事業局

局長

信太 雅洋

【活動方針・重点課題】

支部事業局は、各支部の事業計画や予算の立案、事業の実施や決算の報告などを支援します。また、年々重要性が増しております地域包括ケアシステムに関連した活動についても、職能局との連携を図り支部活動を推進させてまいります。

平成 29 年度は、各支部の学術・教育活動、社会活動、職能活動について全道均一のサービスが行えるよう事業計画を支援する反面、支部の特色（特性）ある活動も支援します。また、収支面からも調整を図りながらも、ある意味では支部毎に独立した団体を視野に入れて支援します。支部主催学会の奨励や理学療法士講習会の開催などは学術局と調整しながら進めます。また、理学療法週間については、平成 28 年度に引き続き介護予防の PR も兼ねた理学療法士の啓発活動を社会局と協調し道民向けに実施いたします。更に、教育局主導で計画されている新人教育プログラム・セミナーの支部開催については、地域単位で異なるニーズを鑑みながら支援・調整いたします。

【各支部事業】

〈道南支部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・各種派遣事業（函館マラソンメディカルサポート）
- ・支部社会部主催（函館市 NPO まつり出展参加）
- ・支部社会部会議（年 3 回）

《公 2：学術振興事業》

- ・支部学術教育部会議：年 6 回（5 月、7 月、9 月、10 月、1 月、2 月予定）
- ・支部症例検討会：年 4 回（7 月、9 月、11 月、1 月予定）
- ・支部研修会：年 3 回（9 月、12 月、1 月予定）
- ・新人教育プログラム：年 2 回（時期未定）
- ・第 3 回道南理学療法士学術大会（7 月下旬）
- ・支部役員会：6 回（4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、3 月）

《その他事業》

- ・支部職能部研修会「地域包括ケアシステムにおけるセラピストの役割について」（時期未定）
- ・支部職能部会議：年 2 回（5 月、10 月）
- ・新人歓迎会：7 月下旬

〈日胆支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・理学療法週間事業（伊達）
- ・健康フェスタとまこまい 出展
- ・メディカルサポート派遣 3回（高野連室蘭地区大会 春季・夏季・秋季）
- ・各種派遣事業 介護認定審査会審査員の推薦派遣（苫小牧・室蘭・登別）、
西胆振地域リハビリテーション推進会議役員派遣 など

《公2：学術振興事業》

- ・支部研修会 3回（室蘭2回 伊達1回）
- ・症例検討会 3回（苫小牧1回・室蘭1回 伊達1回）
- ・支部役員会 2回（11月・3月）
- ・地区運営委員会 6回（苫小牧・室蘭・伊達、各2回）

《その他事業》

- ・新人歓迎会（苫小牧・室蘭・伊達） 4～5月
- ・日胆支部ニュースの発行
- ・事業報告会 1回（室蘭）

〈札幌支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・介護予防事業・健康まつりへの参画（清田：9月予定、手稲：9月予定）
- ・理学療法週間事業～さっぽろ医療&福祉フェスタ～
（7月 ～てんとう虫テスト、ロコモ25、FRAXの実施 福祉機器展示・紹介等も含む）
- ・地域包括ケア手稲区モデル事業（週2回×24回×4クール）
- ・高校野球空知支部予選メディカルサポート（5月、7月、9月：3回）
- ・各種推薦派遣事業（随時対応）

《公2：学術振興事業》

- ・会員向け学術集会「第4回札幌理学療法学術大会」（演題数12 演題＋特別講演＋セミナー：2月中旬）
- ・新人教育プログラムセミナー（第4回札幌理学療法学術大会内での開催、2テーマ程度）
- ・会員向け講習会①（内容未定：期日未定、半日開催予定）

《その他事業》

- ・講師バンク・スタッフバンク・メール等連絡先登録などのアンケート調査（支部職能部担当6～8月）

〈石狩支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・北広島市・千歳市の健康祭り出展（9月予定）
- ・理学療法週間事業～高校生理学療法体験～（7月下旬から8月上旬）
- ・理学療法週間事業～介護予防キャンペーン～（7月～8月）

《公2：学術振興事業》

- ・症例検討会 年5回（6月2回・9月・10月・12月）
- ・石狩支部講習会：講師およびテーマは未定（6月～12月）
- ・「管理・育成」の勉強会（9月）
- ・支部役員会議 4回（4月・8月・11月・2月）

《その他事業》

- ・新人歓迎会 北部・南部（5月～6月）
- ・アンケート調査（6月～8月）

〈後志支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・後志いきいき健康まつり 出展（7～10月）
- ・理学療法週間介護予防事業（7月 2ヶ所）

《公2：学術振興事業》

- ・支部講習会（年2回；6～12月）
- ・症例検討会（年3回；7月、10月、2月）
- ・支部役員会議（年4回）

《その他事業》

- ・新人歓迎会（4～7月）
- ・各種推薦派遣事業（新年交礼会の出席等）

〈空知支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・空知支部社会部会議（7月、10月、2月：3回）
- ・高校野球空知支部予選メディカルサポート（5月、7月、9月：3回）
- ・空知スポーツ障害予防講座（11月、1月：2回）
- ・理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（岩見沢市）（6月）
- ・理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（滝川市）（7月）
- ・2017 ふれあい広場くりやま（11月）

《公2：学術振興事業》

- ・空知支部拡大役員会議（4月）
- ・空知支部役員会議（8月、10月、2月：3回）
- ・空知支部学術教育部会議（7月、10月：2回）
- ・第2回空知理学療法士学術集会（11月）
- ・空知支部症例検討会（1～2月）

《その他事業》

- ・空知支部新人歓迎会（6月）
- ・第1回空知支部職能部研修会（5月）
- ・第2回空知支部職能部研修会（8月）
- ・職能局調査（10月～12月）

〈道北支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・旭川市健康まつり参加（6月予定）
- ・富良野健康まつり参加（9月予定）
- ・理学療法週間事業～介護予防健康増進キャンペーン～（7月・旭川市および富良野市）
- ・旭川地区高校野球メディカルサポート（3大会予定）
- ・名寄地区高校野球メディカルサポート
- ・旭川市民体育の日イベント参加者サポート（6月予定）
- ・旭川ハーフマラソン参加者サポート（9月予定）
- ・SWEET GIRL RUN参加者サポート（9月予定）
- ・バーサーロペットジャパン参加者サポート（3月予定）
- ・社会部各種事業事前会議（健康まつり・PT週間・スポーツ関連サポート事業）
- ・各種派遣推薦事業

《公2：学術振興事業》

- ・学術教育部会議2回
- ・H29年度第1回研修会（協調からみる姿勢制御と歩行（仮）・建内宏重氏）8月5日開催予定
- ・H29年度第2回研修会（腰部疾患に対する理学療法（仮）・石田和宏氏）11月25日開催予定
- ・第2回道北理学療法学会（理学療法領域における効果判定）3月17日開催予定
- ・症例検討会3回（6-7月、9-10月、2-3月）
- ・新人教育プログラム研修関連事業（6-7月、2-3月）
- ・地域キャラバンIN 稚内（宗谷地区での研修会）
- ・支部役員会議5回（5月、7月、9月、10月、11月）
- ・拡大役員会議（3月予定）
- ・支部全体集会（12月予定）

《その他事業》

- ・新人教育プログラム研修関連事業（2回）
- ・職能部研修（診療報酬改定に向けて・12月）
- ・支部新人歓迎交流会（上川中部・宗谷・上川北部・留萌・富良野）（4～5月）
- ・支部ニュース発行（6回）・編集会議（6回）
- ・道北支部ホームページ更新：随時
- ・上川中部地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（年会費納入他）
- ・宗谷地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（年会費納入他）
- ・富良野地域リハビリテーション広域支援センターへの協力
- ・上川北部地域リハビリテーション広域支援センターへの協力
- ・支部長派遣（北都専門学校入学式・卒業式、医師会新年会、NPO法人総会、上川中部ハ総会他）

〈十勝支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・各種推薦派遣事業
- ・理学療法週間事業～介護予防～：7月
- ・高野連メディカルサポート：5月～9月
- ・市町村事業・健康祭りへの参画（てんとう虫テストの活用）：時期未定
- ・第1回研修会（社会部企画）：6月「てんとう虫テスト活用」
- ・社会部会議（年1回）：4月～6月

《公2：学術振興事業》

- ・第2回研修会（学術・教育部企画）：9月～10月「運動器系」
- ・症例検討会（3回）：5月～9月
- ・新人教育プログラム支部開催（1回）：11月（十勝理学療法学術大会と同時開催）
- ・十勝理学療法学術大会：11月
- ・役員会（年6回）：4月～3月
- ・学術教育部会議（年2回）：8月～9月

《その他事業》

- ・支部内会員名簿の作成と配布：5月
- ・新人歓迎会：5月
- ・地域包括ケア関連事業：PTの職能を活用したアドバイス事業など
- ・第3回研修会（伝達講習会）（職能部企画）：8月「地域包括ケアシステムを学ぼう」
- ・職能部会議（年1回）：11月～1月

〈釧根支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・理学療法週間事業～介護予防～（7月）
- ・くしろ健康まつり（10月）
- ・こう福祉21 厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル（11月）
- ・スポーツ支援活動公開講座（時期未定）
- ・釧路市介護認定審査会
- ・釧路市障害支援区分等審査会
- ・釧路市高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定市民委員会
- ・釧路根室支庁住宅改善指導チーム
- ・根室地域ケア会議委員
- ・社会部会議（1回）

《公2：学術振興事業》

- ・理学療法基礎講習会（2回時期未定）
- ・症例検討会（3回時期未定）
- ・新プロ支部開催（時期未定）
- ・防災関連研修会（HUG ゲーム「Do はぐ」）（10月）
- ・役員会議（5回）
- ・学術教育部会議（2回）

《その他事業》

- ・職能部会議（1回）
- ・新人歓迎会
- ・地域包括ケアリーダー養成に向けた意識づけのための研修（時期未定）

〈道東支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・香りゃんせフェスティバルへの出展（7月予定）
- ・平成29年度高校生対象のリハビリテーション見学について（5月～10月予定）
- ・理学療法週間事業～介護予防キャンペーン～（7月17日）
- ・北見市健康まつりへの出展
- ・網走市市民健康まつりへの出展
- ・スポーツ支援事業（4月～3月）
- ・ハッカの日ジョイントコンサート
- ・北見市ふれあい広場への出展
- ・地方情報誌「伝書鳩」への記事掲載
- ・体操普及推進事業（4月～3月）
- ・地域包括協働事業（同行訪問、施設ケースカンファレンス）
- ・社会部担当者会議（年5回：4、5、6、8、11月予定）

《公2：学術振興事業》

- ・道東支部研修会（年3回：8-11月、11-3月、4-3月平日開催予定）
- ・道東支部学術大会（6月24日）
- ・新人教育プログラム
- ・症例検討会（年1回予定：7～9月予定）
- ・支部役員会議（年5回：4、7、10、12、3月予定）
- ・学術教育部担当者会議（年5回：4、6、8、10、2月予定）

《その他事業》

- ・支部ニュース発行（年4回：5、8、11、3月予定）
- ・新人歓迎会
- ・講師派遣事業公文書発行（適宜）
- ・地域ケア個別会議マニュアル北見版更新・網走版作成
- ・職能部担当者会議（年4回：5、8、10、2月予定）
- ・職能部研修会
- ・地域包括協働事業推進会議
- ・介護予防推進リーダー導入研修会